



New Partnership

第43号 2014年12月15日 安足教育事務所ふれあい学習課
TEL.0283-23-1471 FAX.0283-23-4274 mail: ansoku-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

ふれあい学習研修会①



10月31日(金)に安足地区ふれあい学習研修会(兼社会教育主事有資格者ステップアップ研修Ⅰ)を開催したところ48名の方の参加がありました。

はじめに、事例発表者として、坂西北小の須田先生に登壇していただきました。先生は、子どもたちの体験や学びを豊かにするために、公民館と共催で、地域の方々子どもたちがふれあいを深める「さかきたふれあい学習会」について、発表してくださいました。

次に、佐野北中の須藤教頭先生は、「社会教育主事有資格者・地域連携教員の実践事例」を発表されました。「中学生による隣接する小学校での読み聞かせボランティア」や「北中学校区小中学校職員・P

TA本部役員合同研修」、「ミシンボランティア」、「大学生による夏休み学習指導」の紹介がありました。先生の「地域連携教員として先生方に地域連携を意識してもらうことが地域とつながることになる。」という言葉が印象的でした。

最後は、足利市教育委員会の小倉社会教育主事の実践事例発表でした。公民館主催学級「ジュニア探検教室」を実施するにあたっての行政担当者としての学校との連携の在り方について、話を聞くことができました。そして、休憩の後、これらの実践事例の講評と講話を国立教育政策研究所社会教育研究実践センターの尾山先生からいただきました。

尾山先生は、学校が地域と連携することによる利点及び連携の在り方等について、国の施策や全国の事例を基に社会教育主事、あるいは地域連携教員として期待される取組や組織・体制づくりの視点からのお話をいただきました。

以下は、参加者の感想を紹介します。(アンケートより)

- 学校づくりは地域づくり。学校が地域のためにできること、地域が学校のためにできることを明確化し、無理なく、楽しく、長く続けられることの重要性を感じました。
- 地域連携教員として、具体的な仕事や考え方が分かり、良い研修だった。
- 今後も地域連携の多くの事例を知る機会を得て、生かしていきたい。

社会教育主事講習修了者の紹介

本年度も夏休み期間を利用し、宇都宮大学及び国立教育政策研究所社会教育研究実践センターで社会教育主事講習が約3週間にわたり実施されました。安足地区からは12名の方が受講され新たに社会教育主事有資格者となりました!

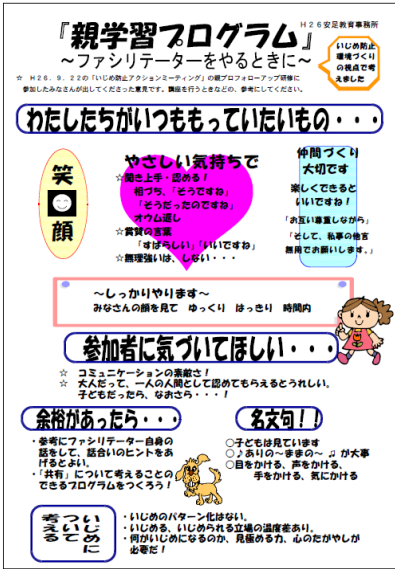
☆ 今年度の修了された方々です。(敬称略・順不同)

氏名	所属	氏名	所属
青木 宏樹	足利市立毛野小学校	塩原 基寧	佐野市立赤見小学校
小倉 祐司	足利市立山辺小学校	平石 和帆	佐野市立戸奈良小学校
蒔田 拓郎	足利市立南小学校	大平 俊也	佐野市立城東中学校
湯澤 亨	足利市立山前小学校	萩野 和美	佐野市立吾妻中学校
川田 純	足利市立御厨小学校	江田 敦夫	佐野市立赤見中学校
石関 亜紀	足利市立山辺中学校	谷津 陽子	県立足利中央特別支援等学校

安足地区いじめ防止アクションミーティング

9月22日(月)、足利市生涯学習センターにて開催しました。家庭教育・子育て支援担当者研修と親学習プログラムフォローアップ研修も兼ねて、普段から家庭教育支援にかかわっていらっしゃる方々39名の参加がありました。

→ 親プログラムフォローアップ研修参加者のまとめ



「親学習プログラム」
~ファシリテーターをやるときに~

わたしたちがいつももっていたいもの...

- 笑顔**
- やさしい気持ちで**
聞き上手・認める!
相づち・「どうぞですわ」
「どうぞありがとうございます」
「お互い尊重しながら」
「そして、相手の得意
難所を聞いていきます。」
- 仲間づくり**
大切できず
楽しくできると
いいですね!
「お互い尊重しながら」
「そして、相手の得意
難所を聞いていきます。」
- 余格があったら...**
- 名文句!**
- 香ついで**

前半の全体研修では、跡見学園女子大学教授の伊澤成男先生に「家庭・地域で取り組む『いじめ』を許さない環境づくり」として講話をしていただきました。いじめ問題の背景には、①子どもたちのコミュニケーション能力の低下②「自尊感情」の低下や「愛着」の不足があるということを踏まえ、「学校や家庭、地域でそれらをどのように育てていくかを考えていくことが必要である」という、いじめを環境から防いでいくための構造について話をいただきました。

後半は、家庭教育・子育て支援担当者研修と親学習プログラムフォローアップ研修の2つ研修に分かれました。そして、それぞれの立場で、いじめ防止の環境づくりとして自分たちがかわれることについて意見交換をし、これから実際にやっていきたいことも挙げていきました。参加者のみなさんの意識も高く、熱心な話し合いがなされました。

<参加者の話し合いから>

- 保護者のがんばりを認めたり、励ましたりして、受け止めながらかわる。
- 信頼感アップにつながるように、保護者に子どもの良いところを伝えていく。
- 片方側からだけでなく、親の支援と子の支援のつながりが必要。

県が主催する生涯学習関連行事

(平成27年1月~)

安足地区ふれあい学習ネットワーク

日時：平成27年1月23日(金)
13:30~16:20(受付 12:45~)
場所：佐野市文化会館小ホール 他
内容：
〔説明〕「『地域連携教員』とは」 栃木県教育委員会
〔講話〕「学校と地域の協働」
茨城大学准教授 長谷川 幸介 氏
〔グループ協議〕
「地域の子どものために、あなたは何かができますか?」

※参加申込みは、安足教育事務所ホームページより参加申込み用紙をダウンロードし、FAXにてお申し込みください。
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m57/>
FAX:0283(23)4274

栃木県教育研究発表大会

日時：平成27年1月30日(金)
1月31日(土)
場所：栃木県総合教育センター

人権教育部会：31日(土) 9:30~12:00
生涯学習部会：31日(土) 13:00~15:30

※参加申込みは、総合教育センターホームページよりお申し込みください。
<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

2月6日(金)「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動フォーラム
2月27日(金) 社会教育主事・関係職員等実践フォーラム2
※詳細は後日、安足教育事務所ホームページ等にてお知らせします

ふれあいの講師派遣

こんな場面で支援します!
家庭教育学級・親子学習・保護者会・就学時健康診断・PTA研修・現職教育・企業研修 など



☆お電話お待ちしております

☆ **学習テーマ例**
参加体験型学習のポイント
人権感覚を高めよう
子どもへの接し方
親子のふれあい
自分の考えが生かされるとき
学校支援ボランティア

栃木県教育委員会事務局
安足教育事務所
ふれあい学習課
0283-23-1471

家読しよう!

家読とは、家族で読んで本について話し合ったり、好きな本を紹介しあったりするなど、読書習慣を共有し、コミュニケーションを図ることで読書活動の活性化と家族の絆を強める取り組みのことです。難しいルールはありません。同じ本について話したり、感想ノートを作ったり、家族で本を選んだり…家族で気ままに始めてみませんか。

